

～ コミュニティ・スクール(学校運営協議会)がはじまります！ ～

地域で育てる成田の子ども

成田市教育委員会



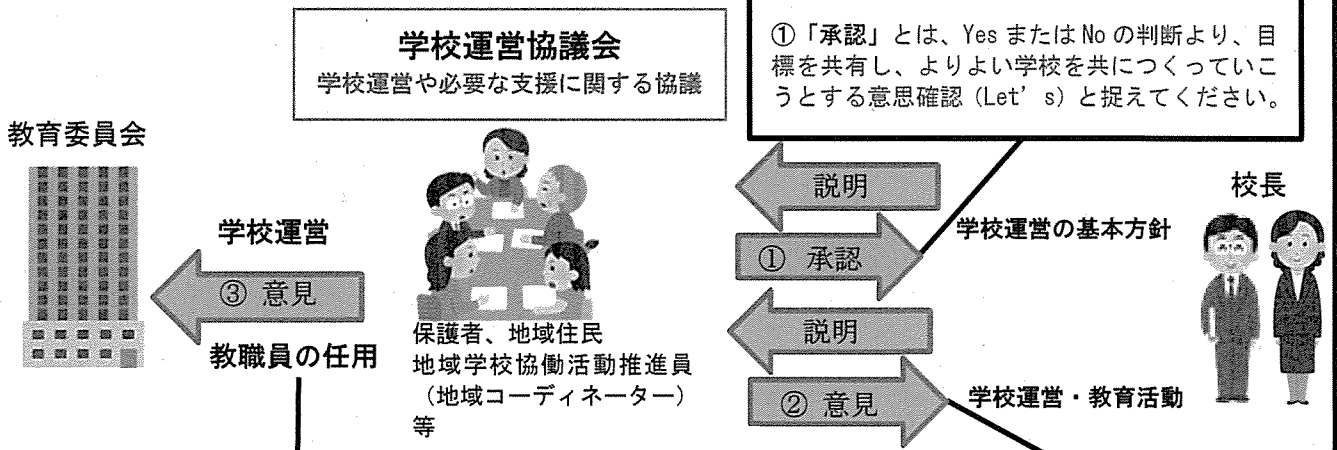
コミュニティ・スクール(学校運営協議会)とは？

コミュニティ・スクールとは、教育委員会が任命した保護者や地域住民の方が一定の権限と責任をもって、学校運営に参画する「学校運営協議会制度」を導入した学校のことです。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の機能

【千葉県教育庁導入ガイダンスより】

☆保護者や地域住民等が、一定の権限や責任を持って学校運営に参画する仕組み



③意見
教職員の任用に関しては、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見を述べるすることができます。
(例) ×英語教育に力を入れたいので、〇〇先生を配置してほしい。
○英語教育に力を入れたいので、英語が堪能な教員を配置してほしい。

②意見
学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

①子どもにとってのメリット

- 様々な支援を得られると、子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 地域の方々と協働することで、地域の担い手としての自覚が高まります。
- 地域学校協働活動の防犯等の取組によって安心・安全な生活ができます。

②教職員にとってのメリット

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の方々の協力を得ることで、結果的に子供と向き合う時間が確保できます。

③保護者にとってのメリット

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が生まれます。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

④地域の人々にとってのメリット

- 自身のスキルを生かすことで、生きがいややりがいを感じることができます。
- 学校と社会的につながり、地域のよりどころができます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築が期待できます。

成田市のコミュニティ・スクール(学校運営協議会)

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題の複雑化・多様化に伴い、学校だけでそれらを解決することが困難になっています。

そこで、その解決に向けて地域と学校が連携し一体となって、未来の創り手となる子どもたちを育てていくことが期待されます。

このため、学校と地域が、子どもたちが抱えている課題に気づき、どのような子どもを育てていくのかという目標やビジョンを共有し、当事者意識をもって子どもたちを育てていくための組織として、コミュニティ・スクールを位置づけています。

成田市は、市街地、成田空港周辺、農業地域という変化にとんだ地域性をもっています。コミュニティ・スクールを導入することにより、それぞれの地域がもつ特色を教育活動に活かすための効果的な人材活用が図れるよう努めてまいります。

さらに、地域の方々の教育活動への支援を通じて、子どもたちが地域のよさに気づき、自らも地域の一員としての自覚を高め、豊かな心を育てるようにします。

成田市のコミュニティ・スクール

- 地域の特色を活かすための人材活用をします。
- 地域のよさを知り、地域の一員として自覚をもった子どもを育てます。